

## 1・2 ◆ 泉湧くところ

## 《Featuring News》—注目のニュース—

- 3~5 ◆ 学校法人福岡学園ならびに福岡歯科大学は  
創立50周年を迎えました
- 6 ◆ 保健管理センターが開設

## 《Campus News》—学園の話題—

- 7 ◆ 学校法人福岡学園 開学記念式典を挙行  
◆ 福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学が  
「高等教育の修学支援新制度(高等教育無償化)」の  
対象校に継続して決定
- 8 ◆ 福岡歯科大学第6学年激励会を開催  
◆ 福岡歯科大学 学年説明会並びに個別面談会を開催  
◆ 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会を開催
- 9 ◆ 福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学  
オープンキャンパスを開催

## 《Special Future》—特集—

- 10~12 ◆ 特集 短大の共学化について考える

## 《People》—学園の「ひと」—

- 13 ◆ 谷口 省吾前教授ならびに埴岡 隆前教授が名誉教授に  
◆ 教員紹介

## 《Information》—お知らせ—

- 13 ◆ 「学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念募金」実績報告

## 《Events》—学園行事レポート—

- 14 ◆ 福岡医療短期大学が取材を受けました

## 《From Alumni》—同窓会だより—

- 15 ◆ 学術報告(村上 誠一・7期生)  
◆ 同窓生からの手紙(松島 一夫・8期生)
- 16 ◆ クリニックからこんにちは!(田中 勝寛・15期生)  
◆ 卒業生NOW(武田 吉裕・35期生)

## 《Affluent Voices》—みんなの声—

- 17 ◆ 看護大学だより  
◆ 短大VOICES
- 18 ◆ 学生からのメッセージ(藤岡 彩・福岡歯科大学 第5学年)  
◆ 保護者からのメッセージ(松元 洋一・福岡歯科大学学生後援会評議員)  
◆ コラム  
◆ 編集後記

## 《Information》—お知らせ—

- 裏表紙 ◆ 令和5年度入学者選抜日程(福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)

## 福岡歯科大学校歌に

福岡歯科大学医科歯科総合病院長 坂上 竜資

福岡歯科大学の校歌は片岡繁男氏の作詞、小川寛興氏の作曲です。50周年記念式典では、日本有数の男性オペラユニット「ザ・レジエンド」によって校歌が格調高く歌われ、参列者の心に深く刻まれました。

作詞者の片岡氏は、歯科医師であるとともに小説家です。代表作の一つに、「人間の生命につかえて」があります。この本は、日本赤十字社の前身、博愛社を作った佐賀出身の佐野常民の伝記です。医学の心を問い続けた偉人の半生を、小中学生でも読める平易な文章で綴っているのでとてもお勧めです。

また作曲を担った小川氏は、二世を風靡した作曲家です。「月光仮面」の主題歌「月光仮面は誰でしょう」を作曲しました。「どーこの誰かは知らないけれど、だーれもがみーんな知ーっているー」を懐かしく思われる方は多いと思います。また倍賞千恵子氏が歌う「さよならはダンスの後に」では、レコード大賞作曲賞を受賞しました。

校歌に出てくる馴染みの地名と風景、そこから広がるイメージは雄大で悠久です。ひと時の青春を、筑紫野の大自然に育まれながら精一杯に生きる、医学を目指す若人の気概をひしひしと感じます。この校歌は、お酒を飲んでむやみに盛り上がったたり、クラブの対抗戦で校名を連呼したりというような趣ではなく、十代後半の学生さんにとっては、最初のうちには校歌のもつ世界に浸るのはまだ少し早い気もしますが、何とか感じ取ってほしいと願います。きっと少し年を経たから歌うと、さらに何十倍にも良さが感じられるはずです。

福岡歯科大学校歌は、歌うたびにわれわれが初心に帰って医学の心を持ち続けることを念じさせ、皆と一緒にさらに高め合おうという勇気を与えてくれます。学生・同窓生・教職員にとっては、誇るべき貴重な宝の一つです。これから先もずっと、皆で歌い継いで参りましょう。